

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和2年1月16日(2020.1.16)

【公表番号】特表2019-509384(P2019-509384A)

【公表日】平成31年4月4日(2019.4.4)

【年通号数】公開・登録公報2019-013

【出願番号】特願2018-548068(P2018-548068)

【国際特許分類】

C 08 L 23/20 (2006.01)

C 08 L 23/04 (2006.01)

B 65 D 53/00 (2006.01)

【F I】

C 08 L 23/20

C 08 L 23/04

B 65 D 53/00

【誤訳訂正書】

【提出日】令和1年11月26日(2019.11.26)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

A) 12モル%から18モル%の共重合エチレン含量を有し、ショアA値が80~40であり、第2の加熱スキャンにてDSCで検出可能な溶融ピークを有さない、ブテン-1とエチレンとの共重合体65重量%~82重量%、及び

B) 23でISO 1183に従って測定された、0.914 g/cm³~0.935 g/cm³の密度を有するLDPエチレン重合体18重量%~35重量%を含み、ここで、A)とB)の量は、A) + B)の総量を基準とし、かつDSCの第2加熱スキャンは、分当り10の加熱速度で行われる、ポリオレフィン組成物。

【請求項2】

0.5~8 g/10分のMIEを有し、MIEがISO 1133に従って決定された、2.16 kgの荷重下で190でメルトフローレートである、請求項1に記載のポリオレフィン組成物。

【請求項3】

第2加熱スキャンにてDSCによって測定された7J/g~35J/gのH_{fu}sを有し、前記第2加熱スキャンが分当り10の加熱速度で行われる、請求項1または請求項2に記載のポリオレフィン組成物。

【請求項4】

前記ブテン-1共重合体成分A)は、下記の付加的な特徴、すなわち、

- 0.5 g/10分~3 g/10分のMIE；

- ショアD値が20以下；

- Mw/Mn値（ここで、Mwは、重量平均モル質量であり、Mnは数平均モル質量であり、両方はGPCによって測定される）が3以下；

- 23 (ISO 2285)の100%変形で30%未満の引張永久歪み；

- 80%超過のアイソタクチックペンタド形態のブテン-1単位のパーセント (mmmm m%)；

- ISO 527 によって測定された 3 MPa ~ 20 MPa の引張破断応力 ;
- ISO 527 によって測定された 550 % ~ 1000 % の引張破断伸度 ;
- 固有粘度 (I.V.) が 1 dL/g 以上であり ;
- X-線によって測定された 30 % 未満の結晶化度 ;
- 0.895 g/cm³ 以下の密度 ;
- 0 で 15 重量 % 未満のキシレン不溶性分画の含量、

のうち少なくとも一つを有する、請求項 1 に記載のポリオレフィン組成物。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 請求項 4 のいずれか 1 項に記載のポリオレフィン組成物を含む成形品。

【請求項 6】

ガスケットの形態である、請求項 5 に記載の成形品。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の成形品を含む、ツイストクロージャ。

【請求項 8】

食品容器で使用される、請求項 7 に記載のツイストクロージャ。

【請求項 9】

プレスオン / ツイストオフキャップの形態である、請求項 7 又は請求項 8 に記載のツイストクロージャ。

【請求項 10】

- a) 溶融状態のポリオレフィン組成物をクロージャの内部表面上に配置する段階 ; 及び
 - b) 前記配置されたポリオレフィン組成物を形成する段階、を含む
- 請求項 6 に記載の成形品を製造する方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0121

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0121】

0 (XS-0) でキシレン中に可溶性及び不溶性の分画

2.5 g の重合体サンプルを攪拌下に 135 度 250 mL のキシレンに溶解させた。30 分後、溶液は依然として攪拌下で 100 度まで冷却するようにした後、水及び氷バスに入れて 0 度まで冷却する。次に、溶液を水及び氷バスで 1 時間沈降させる。沈殿物を濾紙で濾過した。濾過する間、フラスコは、フラスコの内部温度を可能な限り 0 度付近を維持するように水と氷バスに放置した。濾過が完了すると、濾過液の温度を 25 度で均衡とさせ、容量フラスコを水洗バスに約 30 分間沈漬した後、二つの 50 mL の一定分量で分割する。溶液の一定分量を窒素の流れ中で蒸発させ、残留物を一定の重量に到達するまで 80 度にて真空下で乾燥した。二つの残留物間の重量差は、3 % 未満でなければならないし；そうでなければ、試験を繰り返す必要がある。従って、残留物の平均重量から重合体の可溶性 (0 のキシレン可溶性 = XS0) の重量 % を計算する。0 度 0 - キシレン不溶性分画 (0 でキシレン不溶性分 X I % 0) は以下のとおりである：

$$X I \% 0 = 100 - X S \% 0 .$$

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0132

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0132】

実施例 1 及び比較例 1

実施例で使用した材料

PPB-1: WO2009/000637 に記載された工程によって製造された、16

モル%の共重合エチレンを含有するブテン-1/エチレン共重合体に、7重量%の量のプロピレン共重合体組成物(I)(ブテン-1/エチレン共重合体とプロピレン共重合体組成物(I)との総重量に対して)がインラインブレンドされた材料。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0133

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0133】

上記のプロピレン共重合体組成物(I)は、5.5g/10分のMFR L、3重量%の総共重合エチレンの含量、6重量%の総共重合ブテン-1の含量、25におけるキシレン中に可溶性の分画(XS-25)19重量%及び133のTmを有し、次の二つの成分からなる：

I')35重量%の、プロピレンとエチレン(共重合体中に3.2重量%)の共重合体、及び

I")65重量%の、プロピレン、エチレン(共重合体中に3.2重量%)、及びブテン-1(共重合体中に6重量%)の共重合体；

ここで、I')及びI")の量は、I')+I")の総重量を基準とする；

L D P E : L y o n d e l l B a s e l l によって販売されている0.928g/cm³の密度及び4g/10分のM I E を有する低密度ポリエチレン単独重合体L u p o l e n 3 0 2 0；

安定化剤：0.05重量%のペンタエリトリトールテトラキス(3-(3,5-ジ-tert-ブチル-4-ヒドロキシフェニル)プロピオネート(Irganox(登録商標)1010、B A S F によって販売される)及び0.05重量%のトリス(2,4-ジ-tert-ブチルフェニル)フォスフェイト(Iragafos(登録商標)168、B A S F によって販売される)のブレンド、前記パーセント量は、ポリオレフィン組成物の総重量を基準とする；

潤滑剤：1重量%のエルカミド(erucamide)(C r o d a m i d e(登録商標)E R、C r o d a によって販売される)、1重量%のオレアミド(O l e a m i d e)(C r o d a m i d e(登録商標)O R、C r o d a によって販売される)及び1重量%のステアリン酸グリセリル(A t m e r(登録商標)129、C r o d a によって販売される)のブレンド、前記パーセント量は、前記ポリオレフィン組成物の総重量を基準とする；

顔料：二酸化チタニウムT i - P u r e(登録商標)R-104、D u P o n t によって販売される。